

**@@@@@病院 リハビリテーション科で実施される
多機関共同研究についてお知らせいたします。**

「大腿骨近位部骨折術後早期における下肢荷重率と歩行補助具選択の関連」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部倫理委員会の承認を受け、本施設の病院長の許可を得て実施しています。この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

研究課題名	大腿骨近位部骨折術後早期における下肢荷重率と歩行補助具選択の関連
所属(診療科等)	信州大学医学部保健学科
研究責任者(職名)	中村慶佑(理学療法士)
研究実施期間	研究機関の長による許可日～2031 年 5 月 31 日
研究の意義、目的	大腿骨近位部骨折術後の下肢荷重量と使用している歩行補助具の関連を明らかにすることを目的とした研究で、術後のより安全で分かりやすい歩行補助具の選択基準の検討に貢献すると考えられます。
対象となる方	研究機関の長による許可日から 2030 年 5 月 31 日の期間に本施設で大腿骨近位部骨折について手術治療を受けられた方
利用する診療記録	年齢、性別、骨折の種類、手術方法、手術後に歩行練習を開始した日、受傷前の歩行状況、認知機能低下の有無、神経疾患の既往などを確認します。
研究方法	診療記録とリハビリテーション中の評価により上記の内容を収集し、下肢荷重量と使用する歩行補助具との関係性について検討します。
共同研究機関名 (研究責任者氏名)	松本市立病院(責任者:長澤祐哉)、富士見高原病院(責任者:黒部恭史)、伊那中央病院(責任者:多賀将仁)
研究代表者	主任施設の名称:信州大学 研究責任者:中村慶佑
問い合わせ先	@@@@病院 研究責任者:@@@@ (電話:@@@@)

患者様を直接特定できる個人情報を削除した上で提供された試料・情報等を利用します。

研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、参加取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。